

News & Information

Information

学研R&Cが提案する第三者評価

4月より施行される新しい保育所保育指針でも、保育、環境の見直しのたいせつさが、より強くいわれています。保育の質向上につながる新たな気づきの機会として、第三者評価の受審を検討してみたいかでしょうか。学研R&Cでは、改善点ばかりでなく、その園のすばらしいところや特色を積極的に抽出することを心がけています。

第三者評価とは？

保育所や高齢者施設、障がい者施設などにおける福祉事業者の提供するサービスの質について、当事者（利用者や事業者）以外の公正・中立な第三者機関が、専門的・客観的な立場から評価を行います。

行政の監査とは異なり、最低基準を満たしているかを確認するのではなく、評価結果を広く公表することにより、利用者の福祉サービスの選択支援や、各事業者がより良いサービスを提供できるように誘導する役割を持っています。

学研R&Cが認証を受けているエリア

東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県・群馬県

お問い合わせ

株式会社 学研R&C (Relief&Confidence→安心と信頼)
〒141-8510 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL: 03-6431-1865 (平日9:00~17:00、土・日・祝休)
FAX: 03-6431-1866 E-mail: randc@gakken.co.jp

「受審者の声」

第三者評価を受けるにあたり、何をどうしたらよいかかわからず、無の状態からのスタートでした。そんなとき、学研R&Cさんのパンフレットを読み、「一度、話を聞いてみよう」ということで、園に来ていただきました。

説明の中で、「気づき」ということばが印象的でした。第三者評価を受けることで、自分たちの中であたりまえと思っていたことを、ほかの視点から見ることができたり、ことばどおり、「今まで気づけなかったことに気づく」ことのたいせつさをあらためて実感しました。

訪問調査は、「良いところを見てもらうのだから、ありのままを見てもらおう」という姿勢で臨みました。実際に訪問調査に来たかたがたは、保育の現場を深く経験されており、「保育の心」を持って見るべきところをしっかりとらえ、子どもたち一人ひとりに声をかけ、かかわっていただきました。職員にとっては、学びのときとなり、力をいただいたことに感謝しています。

評価結果は、わたしたちの自信にもつながりました。また、改善すべき点は改善し、園の柱である「みんなで力を合わせて」ということに、職員一同あらためて気づく機会となりました。

(社会福祉法人こひつじ会 園長 市川ルミ)

Book



『だれがトイレでうんちをするの?』

『だれが はみがきをするの?』



アメリカの人気作家で小児科医のエリッヒ先生が、幼児に教えたい生活習慣を、ユーモラスにつづった「質問が大好きな子どもとよむ本」シリーズの翻訳版。生活習慣に対する子どもの「どうして?」が、「なるほど! 人間だもんね」に。人間社会へデビューしていく子どもたちへ。

お問い合わせ=学習研究社
TEL: 03-6431-1002

※紹介した絵本は、お近くの書店でお求めください。

作=フレッド・エールリヒ 絵=エミリー・ポラム 訳=石原良純 学習研究社刊 定価=各945円(税込)